

2022年度日本医学会連合加盟学会連絡協議会
2023年2月10日 15:00-17:15

医学会におけるダイバーシティの取り組みと課題

日本癌学会の取り組み

1. 男女共同参画
2. 若手研究者、海外研究者の支援
3. 患者連携
4. 異分野連携

村上 善則

日本癌学会副理事長、東京大学医科学研究所

日本癌学会

一般社団法人 日本癌学会 (The Japanese Cancer Association)

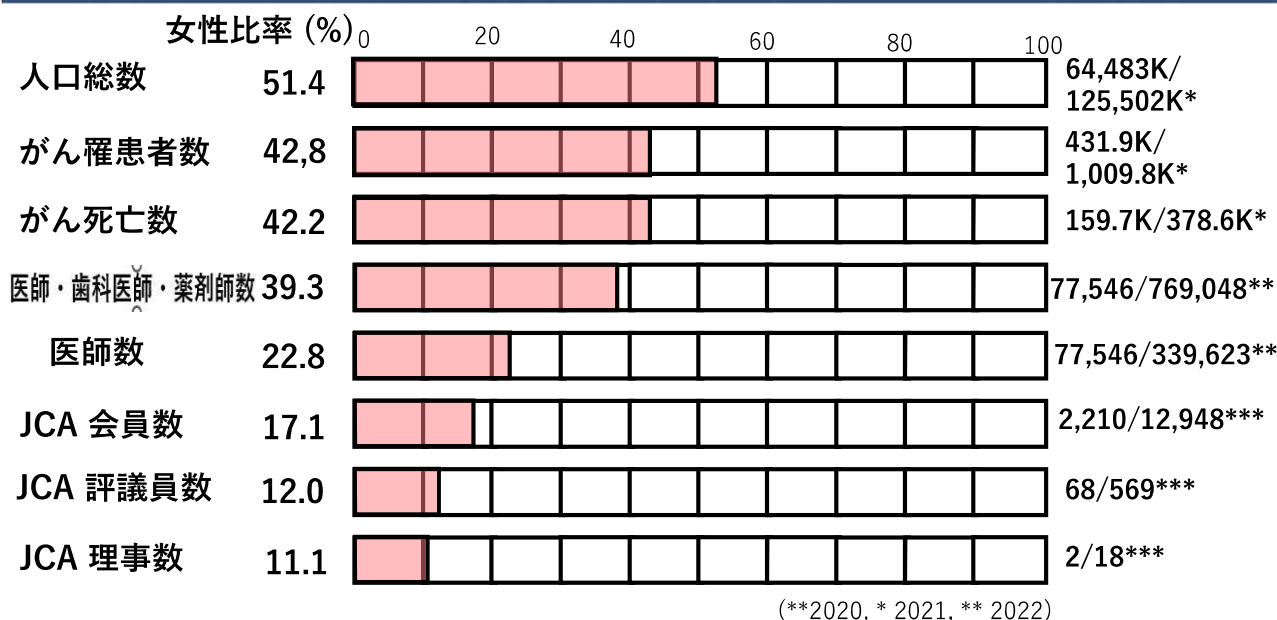
- 創立：1941年
日本医学会/日本医学会連合の加盟学会 No.7
- 会員数：12,948人（女性：2,210人、17.1%）
- 目的：癌研究の発達を図る（会則第2条）
がんの基礎－橋渡し(TR)－臨床研究、
公衆衛生、社会医学等幅広い研究
- 理事長：佐谷秀行博士（藤田医科大学）
- 活動：
学術総会 年1回（1941～、2022年は第81回学術総会）
シンポジウム・市民公開講座 年2回
日米癌学会合同シンポジウム(1988～)、合同カンファレンス等
禁煙活動等、がん予防への取り組み
がんとがんゲノム医療の説明、普及
- 学会誌：Cancer Science (IF= 6.36, Q1 in Cancer Research)



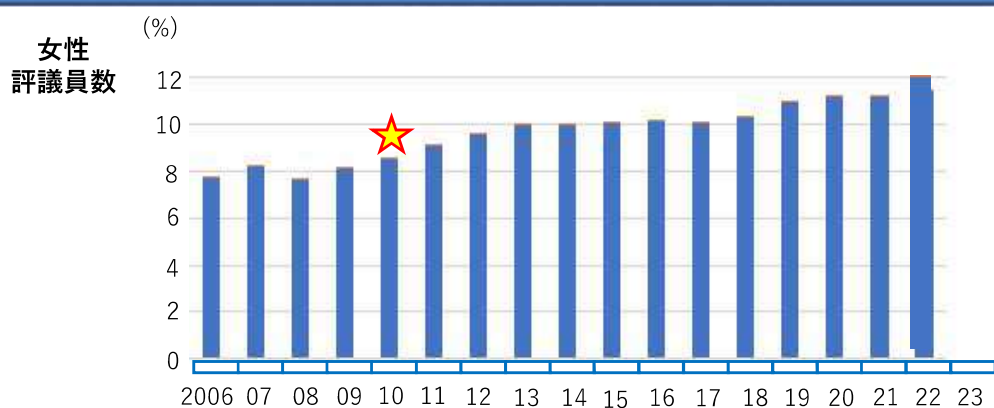
佐谷秀行理事長

男女
共同

日本癌学会における女性会員の割合

男女
共同

日本癌学会における女性評議員数の推移



評議員推薦特別枠導入 2009 → 68名 (12.0%)

理事に、女性、地域性等の
ダイバーシティを考慮した
評議員推薦枠(2名)を賦与

女性理事誕生 2020 → 2名 (11.1%)

男女
共同

日本癌学会における女性科学者委員会の活動

評議員推薦特別枠導入 2009

女性理事誕生 2021

2006 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23

WSCRシンポジウム設立 2014

公募演題
導入

女性科学者賞受賞講演導入

シンポジウム賞設置

女性科学者委員会発足 2015

女性科学者賞設立 2017

日本癌学会
女性科学者委員会

2015年 日本癌学会の男女共同参画の HQ として、学会内委員会として発足
 発足時メンバー7名（女性5名、男性2名）
 現在(2023年)メンバー8名（女性4名、男性4名）、アドバイザー3名（女性2名、男性1名）

WSCR シンポジウムの企画、運営（公募の導入、前年度科学者賞受賞者講演の導入など）
 日本癌学会女性科学者賞の設立
 各学術総会での各種関連シンポジウム、企画の支援

男女
共同

Women Scientists in Cancer Research Symposium

2006 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23

WSCRシンポジウム設立 2014

公募演題
導入

受賞講演導入

シンポジウム賞設置

女性科学者委員会発足 2015

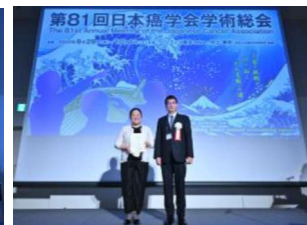
女性科学者賞設立 2017

第9回 WSCR シンポジウム
(2022/9/30 第81回学術総会)

座長	演者氏名	所属
本橋 ほづみ	吉松 有紀 (公募)	栃木県がん研究センター
後藤 典子	○峰岸 ゆり子 (公募)	がん研究会化学療法センター
	須摩 桜子 (公募)	筑波大学人間総合科学研究科
	奥田 瑠璃花 (公募)	京都大学大学院医学研究科 腫瘍生物学
	井上 カタジナ アンナ (公募)	東京医科歯科大学病態生化学分野
	高橋 暁子 (指定)	がん研究会がん研究所
	後藤 典子 (指定)	金沢大学がん進展制御研究所



Hybridシンポジウム



シンポジウム賞授賞式

男女
共同

日本癌学会女性科学者賞

2006 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23

WSCRシンポジウム設立 2014

女性科学者委員会発足 2015

女性科学者賞設立 2017

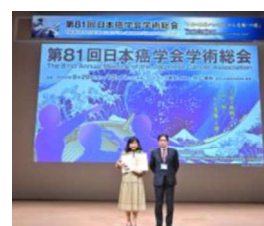
受賞講演導入

歴代受賞者

第6回 2022	幸谷 愛	東海大学
第5回 2021	神奈木真理	関西医大
第4回 2020	滝田順子	京都大学
第3回 2019	本橋ほづみ	東北大学
第2回 2018	金井弥栄	慶応大学
第1回 2017	大谷直子	大阪市大



Hybrid シンポジウム



シンポジウム賞授賞式

男女
共同

第81回日本癌学会学術総会での D & I に関する活動

特別企画3 多様性によるがん医療・研究の躍進

演者 上野直人(Cancer X/MD Anderson CC)
大谷直子(JCA 理事/大阪公立大学)
中村健一(国立がんセ)
半澤絵里奈(Cancer X/電通)
日色保(日本マクドナルド)

座長 三嶋雄太(Cancer X/筑波大学)
後藤典子(JCA 理事/金沢大学)



特別企画6 ワーママ・ワーパパ座談会 in 癌学会 2022 研究業と家庭の両立

演者 趙 民知(がん研究会)
後藤典子(JCA 理事/金沢大学)
味岡逸樹(東京医歯大/神奈川県)
三浦恭子(熊本大学)
末原泰人(筑波大学)

座長 大谷直子(JCA理事/大阪公立大学)
大槻雄士(藤田医科大学)

若手

日本癌学会における若手研究者支援の取り組み

日本癌学会奨励賞（1982年～）

- ・毎年、基礎、臨床の優れた研究を表彰（各5題）
- ・39歳以下、賞状+賞金を授与
- ・受賞者総数：328名(2022年時点)
- ・学術総会での受賞講演（各12分）

日本癌学会若手発表会（2019年～）（2泊3日）

- ・35歳以下の発表者を公募
- ・一般口演、ポスター発表
- ・旅費、宿泊費は癌学会が負担

日本癌学会学術総会ポスター賞（2021年～）

- ・一般口演+ポスター演題の若手発表から書面審査、ポスター審査で決定、表彰
- ・35歳以下、賞状、トロフィー+賞金を授与
- ・受賞者数：毎年約60名
- ・クラウドファンディングによる支援、公開

第81回学術総会での若手支援の取り組み

- ・日本癌学会奨励賞受賞講演（大会場）
- ・カッティングエッジ・セッション（初）
 - ・最近1年間に一流誌に掲載されたがん研究と背景、方向性を第1会場で発表
 - ・厳選5演題、15分
- ・シンポジウムでの若手演題枠(60%)
- ・ミニシンポジウム（6セッション、全員若手、初）
- ・若手研究者ポスター賞 60題
- ・ポスターセッション全員参加制
- ・全国の癌研究所、癌支援財団紹介ポスター（初）
- ・託児所
- ・クラウドファンディング(2021～)
 - 「がん治療の種を育てよう」

JCA-Mauvernay Award (2005～) 中堅研究者

- ・がん研究の基礎、臨床分野での優れた業績
- ・50歳未満、毎年各1名、賞状+賞金
- ・受賞者総数：35名(2022年時点)

若手

第81回日本癌学会クラウド・ファンディング 「がん治療の種を育てよう」(2022/6/15-7/31)

#社会にいいこと #医療・福祉 #がん #イベント #研究

#がん治療の種を育てよう | がんが治る病気になる日まで不屈の挑戦を。

JCA 第81回日本癌学会学術総会



https://readyfor.jp/projects/japanese_cancer_association_81th

本プロジェクト
4,289,000円 目標金額 3,000,000円

支援者 募集終了日
291人 2022年7月31日

フォローする

プロジェクトは成立しました！

シェア ツイート いいねがある with 動画

プロジェクト実行メンバー

がん克服には若手研究者の挑戦が必要です！
応援よろしくお願いします！

藤田医科大学医科学研究センター 大槻雄士

金沢大学がん進展制御研究所 腫瘍細胞生物学研究分野 平田 英樹

若手研究者とがん研究の未来に
応援をお願いします

東京大学 大学院新領域創成科学研究科 谷川 千津

東京大学 医科学研究所 人癌病関連遺伝子分野 伊東剛

がん克服には若手研究者の育成が不可欠です。
ご支援を何卒よろしくお願いします！

金沢大学がん進展制御研究所 腫瘍細胞生物学研究分野 平田 英樹

がん克服への道を拓く
若手研究者達の挑戦を
後押ししてください！

東京大学 医科学研究所 人癌病関連遺伝子分野 伊東剛

若手研究者ポスター賞賞金等の、
若手研究者の支援と、
がん研究の社会への発信のために



第81回総会
ポスター発表選考風景

国際 日本癌学会における海外（アジア、オセアニア）研究者の支援

International Session（2007年～）

- ・アジア、オセアニアを中心に海外研究者を招聘
- ・学術総会で12セッションのシンポジウムを実施

Travel Grant for Oversea Scientists（2011年～）

- ・海外（アジアなど）からの学術総会参加演題から若手の優秀演題発表者を選出して、旅費を支援
- ・毎年20人程度

JCA International Award（2016年～）

- ・アジア、オセアニアの科学者でJCA国際化に貢献した外国人研究者を表彰
- ・毎年1名、学術総会にて受賞講演、賞状+賞金授与

Cancer Science Young Scientist Award（2007年～）

- ・日本癌学会英文会誌 Cancer Science (IP=6.36) の優秀論文を国内、海外研究者2報ずつ選出
- ・学術総会にて表彰、受賞講演



患者

日本癌学会における患者様との連帯の取組み

Survivor Scientist Program (SSP)

目的：がん患者や家族を支援する団体運営者または個人が、学術総会への参加を通じてがん研究に関する理解を深めることにより、がん研究に対してがん患者や家族の立場から参画する「リサーチ・アドボケート」が養成されること。また、リサーチ・アドボケートとがん研究者が協働してがん研究の推進を図ることにより、がん医療の向上に寄与すること。

概要：参加者10名募集

- ・SSP プログラムの受講
- ・プログラムセッションの聴講
- ・ポスターの閲覧、
- ・自らのポスター掲示・発表
- ・学術総会参加費の免除、
- ・旅費交通費の助成
- ・プログラム修了者に修了証の授与

第81回学術総会 SSP 基礎講座

- ・畠山昌則（微化研）基礎講座オリエンテーション
- ・野田哲生（がん研）がんゲノム医療総論
- ・藤堂具樹（東大）ウイルス療法
- ・浦野恭照（東大）イメージングとがん医療の新技术
- ・鳥越俊彦（札幌医大）がん免疫療法
- ・石井 健（東大）コロナ禍のワクチン開発
- ・三森功士（九大）がんゲノムの進化

第81回日本癌学会学術総会での取組み

1. 特別シンポジウム「患者と医療者が協創するがん医療を目指して」（日本学術会議合同シンポジウム）
2. 特別企画「進行がんとの共生へのチャレンジ」

異
分野

日本癌学会における異分野融合の取り組み

委員会活動：糖尿病とがんに関する合同委員会 (2011~)

第81回学術総会での取り組み (2022.9)

1. 特別企画「がん研究の異分野融合を加速する新たな技術」
田中耕一博士記念講演「異分野からのイノベーションを生み出せる場の実例」
2. シンポジウム「AIサイエンスによるがん研究の臨床応用と創薬」
3. シンポジウム「工学的視点による新しいがん研究」
4. 他学会との合同シンポジウム (15学会、15シンポジウム)

米国癌学会	日本がん疫学・分子疫学研究会	日本肺癌学会
日本学術会議	日本獣医学会	日本乳癌学会
日本癌治療学会	日本免疫学会	日本泌尿器学会
日本臨床腫瘍学会	日本糖尿病学会	日本小児血液腫瘍学会
日本がん予防学会	日本人類遺伝学会	日本HTLV-1 関連疾患学会

日本癌学会における D & I の取り組み

